

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和6年 12 月
海老名市立社家小学校**

令和6年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語、算数)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

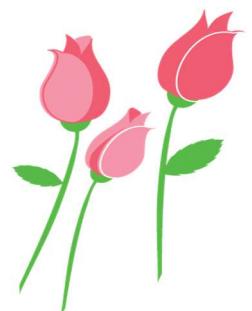
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和6年4月18日(木)

※児童生徒質問調査について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

○知識及び技能について

- ・聞き取りメモの書き表し方を説明したものとして適切なものを選択肢の中から選ぶことが比較的にできています。
- ・該当する主語に適切な述語を選ぶことができています。
- ・選択肢の中から、空欄に入る内容について適切なものを選ぶことができています。

○思考力・判断力・表現力等について

- ・登場人物の心情が表れている文章を叙述から選び、選択肢の中から選ぶことができています。

◆課題のある点

○全体を通して

- ・叙述から答えを見つけることはできているのですが、叙述にない部分を答えとして求められる問題（メモの工夫の真意や、登場人物の叙述には表れていない心情や様子を想像して考えること。）への正答率が、全国や県に比べて低い傾向にあります。

○知識及び技能について

- ・学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題が見られます。

○思考力・判断力・表現力等について

- ・出題された聞き取りメモが、どのように整理されているのか説明されているものや、書き表し方を説明する問題の意図が理解しきれていない様子が見られます。
- ・登場人物の工夫や、その考えを説明するような問題の正答率が低い傾向があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 選択肢のある解答ではなく、自分の思ったことや感じたことを文章にして書き表す力をつけていく必要があります。
- 叙述から文章は読めています。今後はその背景や心情を想像させ、適切なものを考えようとする学習を進めていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の関係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

○数と計算の問題

- ・問題場面を、□を用いた式で正確に表すことができています。

○図形の問題

- ・作成途中の直方体の見取図について、理解できている児童が多いです。

○変化と関係の問題

- ・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できる児童が多いです。

◆課題のある点

○変化と関係の問題

- ・道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題が見られます。

○図形の問題

- ・図形の問題は他と比べ正答率が高い結果となりました。しかし、球の直径の長さと立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことが難しいようです。

今後の具体的な指導改善のポイント

○考えを表現する機会を設ける

- ・変化と関係を捉え、答えを求める際に、「どのように考えていったのか」「どうしてそう考えたのか」を言葉や数、図や表を用いて表現する場면을授業の中で多く設定していきます。

○既習内容をつなげて考える

- ・児童が理解している内容を活用し、さらに応用問題を考えることができるよう進めていきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○英語の学習

- ・「英語の勉強は好きですか」の設問に対し、当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答した児童は、全国平均より上回る結果となっています。（県比＋7ポイント・全国比＋6ポイント）また、「英語の勉強は大切だと思いますか」「英語の授業の内容はよく分かりますか」の設問でも、好意的な回答が県、全国の平均を上回っています。英語の学習が充実していると言えます。

◆本校の課題と思われるところ

○算数の学習

- ・「算数の勉強は好きですか」「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」「算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか」の設問に対し、当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答した児童は、県、全国平均を10ポイント以上下回る結果でした。

○総合的な学習の時間

- ・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいますか」の設問に、当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答した児童は、県、全国平均を10ポイント以上下回る結果でした。

生活について

◆本校のよかったところ

○キャリア教育についての意識

- ・「将来の夢や目標をもっていますか」の設問に対し、当てはまる・どちらかといえば、当てはまると回答した児童は、全国平均より上回る結果となっています。教科横断的にによってさまざまな職業に触れていたり、日常から目標を意識しながら生活したりする様子があると考えられます。

◆本校の課題と思われるところ

○人とのつながり

- ・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の設問に対し、肯定的な回答が平均よりも下回る結果となりました。「当てはまる」の回答は県比-14.3ポイント・全国比-15.1ポイントでした。他者の役に立ちたいという意識や積極性が若干低い傾向が見られます。

○PCやタブレットの活用

- ・「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」の設問には、有効性を実感しているとの回答が全国平均より下回る結果となっています。学習の有効な手段として活用の指導にも課題があると考えられます。

今後の具体的な取組について

- 算数で、与えられた課題に対する取り組みだけではなく、自ら課題を見出し、解決していく力を身に付けていくことをめざします。
- 総合的な学習の時間に計画的に取り組めるような学習環境について考えていきます。
- 地域を含め、様々な人と関わり、つながりを感じることができるよう機会を設けるとともに、児童が「役に立ちたい」と感じられるような関わり方や指導を意識していきます。

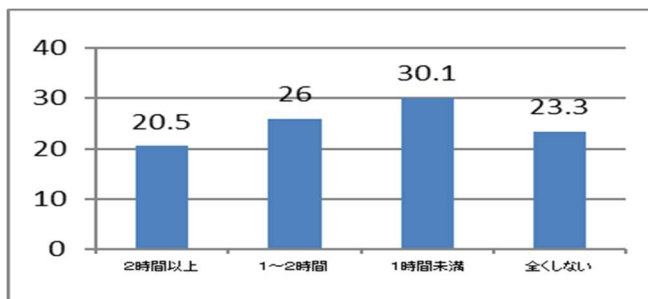
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい3つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1

勉強をする習慣をつけましょう。

土日は習い事で忙しい人もいるかもしれませんが、勉強をする習慣は大切です。「全くしない」ということがないように、長時間でなくてよいので、勉強する習慣をつけましょう。

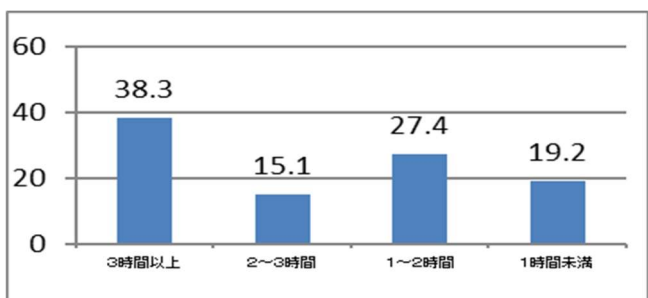


学校が休みの日に1日当たりどれくらい勉強をしますか？

2

ゲームの時間に気をつけましょう。

ゲームはとても楽しいものです。しかし夢中になると、いつの間にか何時間もの時間が過ぎていくことがあります。ご家庭でルールを決めて遊ぶようにしましょう。

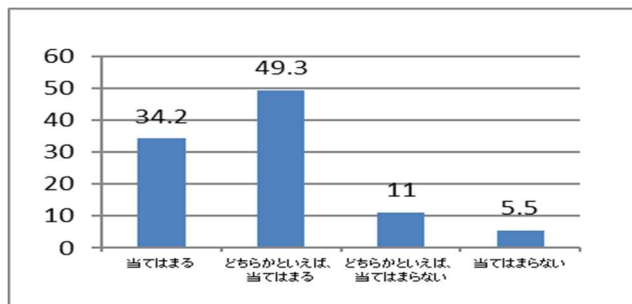


1日あたりどれくらいの時間ゲームをしますか？

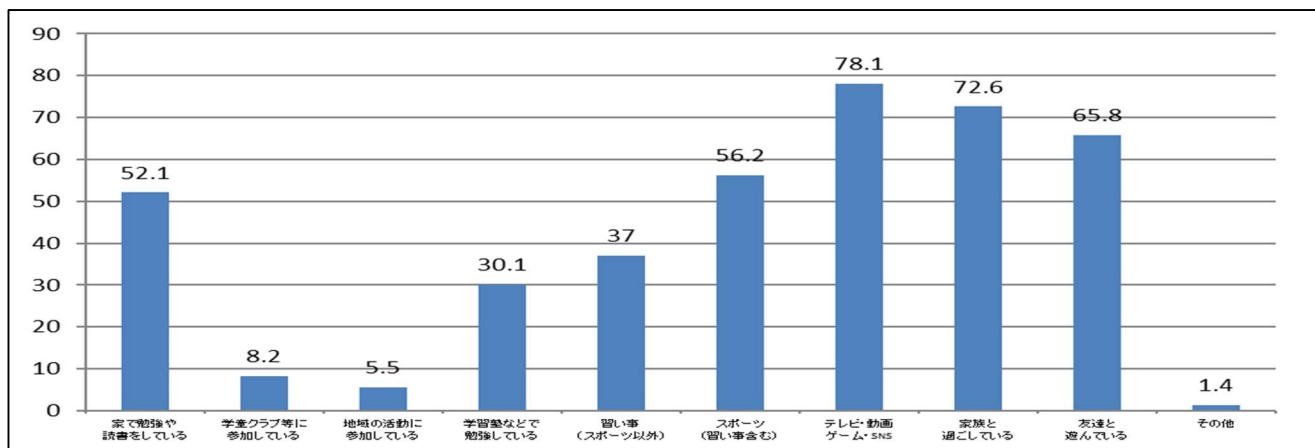
3

地域の行事に、参加しましょう

「地域や社会を良くするために何かをしてみたい」と思っている児童はたくさんいます。しかし実際に「地域の活動に参加している」と回答した児童は、4人しかいません。実際に行動することで、より地域のことを知ることができるだけでなく、今後の学習に役立つ良い機会となるので、積極的に参加しましょう。



地域や社会を良くするために何かしてみたいと思いますか？



放課後や週末に何をしてお過ごしことが多いですか(複数選択)

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

第4期
『えびなっこしあわせプラン』
海老名市教育委員会 教育ビジョン

キーワードは「包摂性」
誰ひとり取り残さない教育
実現をめざします



①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

＜①授業改善の実践＞

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- こどもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組みます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実を図ります。

【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係